

女伏

白秋全集

13

詩歌ノ一ト
1

白秋全集 13

第一回配本(第1期一と二四卷)

一九八五年一〇月九日 発行

定価三五〇〇円

著 者 北 原 白 秋

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋一五五
発 行 所 錦 式 岩 波 書 店

電話 〇三三六二
振替 東京六三三〇

落丁本・乱丁本はお取替いたします

凡 例

本全集の13巻と14巻の二冊には、白秋自筆のノートを写真版で収めることにした。本巻には現存が確認されるノート二十九冊のうち、第一詩集『邪宗門』および第二詩集『思ひ出』と密接な関係のある最初期のノート六冊を、すべてほぼ原形のまま収めた。

収録にあたって、主として『邪宗門』にかかわる二冊を「邪宗門ノート」1・2、『思ひ出』関係の四冊を「思ひ出ノート」1・4と仮に名づけた。

原ノートの白紙の部分は省略した場合が多いが、筆記された部分はすべて再現した。

この六冊はほぼ同寸法のノートであるが、書かれた文字の大きさや読みとり易さはノートによって違うため、写真版の縮尺をノートによって変え(ノートのページによって変えた所も一部ある)判読できる大ききで作成した。

本巻使用上の便宜のため、各写真版ごとに原ノートの丁数(枚数)を記し、また完成作品との関連等を示す簡単な注記(ネーム)を付した。このとき、次のような略記号を用いた。

1 洋数字で原ノートの丁数を示し、その表ページを片かな「オ」、裏を「ウ」で示した(丁数や表・裏が連続していない部分は、その間のページが白紙であることを意味している)。

(例)

〔3オ〕

原ノート3丁めの表(通しページでは5ページにあたる)

〔4ウ〕

原ノート4丁めの裏(通しページでは8ページにあたる)

2 完成作品と草稿の関連を示すとき、白秋の単行本は次の略記号で表わした。

詩集『邪宗門』は㊦、詩集『思ひ出』は㊧、詩集『東京景物詩及其他』は㊨、歌集『桐の花』は㊩。
また同一の作品の草稿がそのノートの中に何種類か書かれている場合は、A・B・C……で区別した。

(例) ㊦ 「陰影の瞳」の草稿B

右は「邪宗門ノート1」の「6オ」の注記である。「6オ」の「もの甘き……」で始まる詩が『邪宗門』所収の「陰影の瞳」の草稿であり、「邪宗門ノート1」のそれ以前のページに同作品の別の草稿(A)があることを示している。

3 ある作品が単行本に収められるに先だち雑誌等に一度発表され、本全集の「初出(雑誌・新聞)」の項に収録されている場合は、「初出」の記号を用い、その下に発表年月を示した。「初出」事項は「草稿A」の所にのみ掲げた。

(例) ㊦ 「陰影の瞳」の草稿A(「初出」明治41・11「如何に呼べども」)

右は「邪宗門ノート1」の「5オ」の注記である。「5オ」に書かれた詩は、単行本収録に先だち明治41年11月に「如何に呼べども」の題名で雑誌に発表されており、本全集「初出」の項に見出されることを示している。

4 該当する完成作品が白秋の単行本にも、本全集「初出」の項にも見出せない場合は、単に「詩稿」と記した(ただし「思ひ出ノート1」の「断章」の注記では、煩を避けるため「詩稿」の表示を省略した)。

題名の書かれていない詩稿は、その書き出しの一部を「銀のやうなる……」のように示して題名の代わりとした。

歌稿の場合は、完成作品との対応関係の決定が困難であるため、注記では単に「歌稿」と記すに止めた。

5 何連にもわたる長い詩で、ノートにおいても何ページにもわたり草稿が続く場合は、その部分が詩集

での完成作品の第何連にあたるかを注記した。

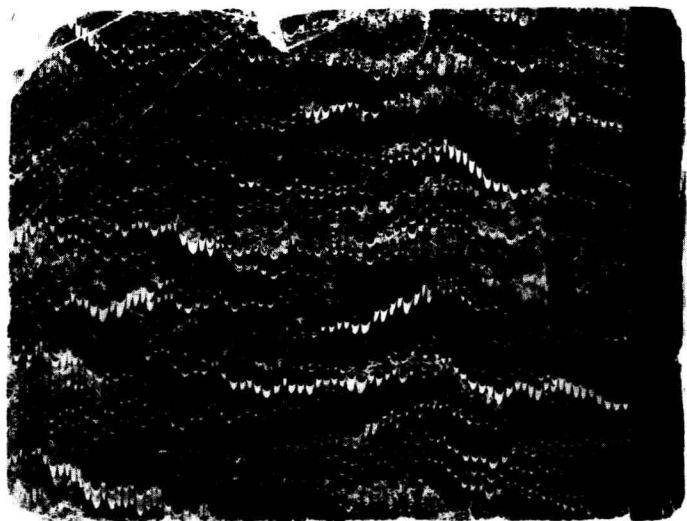
6 注記にあたっては、ノートの抹消部分も対象とし、他と区別せずに取り扱った。

目次

凡例

[illegible]

邪宗門ノト
1



〔表紙〕 15.8×20.4 センチ

スケッチ「邪宗門の窓」〔ノート2丁めの左部分は切り取られている〕

〔2オ〕



窓の門宗邪

ノート使用開始日付か(推定、明治41年9月12日)

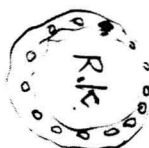
〔1オ〕

Oct, September, 1910

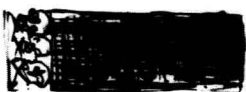
素描



（原稿）
赤き僧圍



晩夏の心の霞は今日もまた
静けさの谷



赤き僧圍

[illegible]

日つと白く雪のふりかゝりて
 赤き袴着ての樂の音は單々とし
 不問に議するや白く徒らか聲をたふし
 赤き袴着ての樂の音は單々とし
 不問に議するや白く徒らか聲をたふし
 赤き袴着ての樂の音は單々とし
 不問に議するや白く徒らか聲をたふし

[illegible]

修心養性

[illegible]

大に於ける色と心との関係

~~0957-6080-0000~~

~~Handwritten text, possibly a signature or name, crossed out with a horizontal line.~~

蘇州府志卷之五

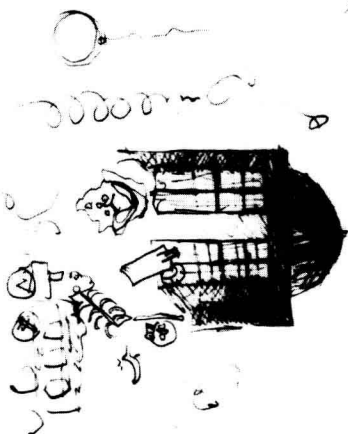
蘇東坡先生集卷之四

國の富強は、
教育の普及に
依る。

2021年12月12日

Myin Romaku.

Romaku



Myin / 9

狂人の音楽。

狂人の音楽は、
 狂人の心の中にある。
 狂人の心の中は、
 狂人の音楽の王国。
 狂人の音楽は、
 狂人の心の中にある。
 狂人の心の中は、
 狂人の音楽の王国。

⑨「狂人の音楽」 関連メモ（楽器名など）

[74]

1947, 1948, 1949

ト、ニ、三、

也 口

4. 才 7.

1. 2. 3. 4.

T: 9 7 1 1

トキヲシテ

157.

才

— 11 —

(1) 1954. 5. 17 (日)



晩夏の午後し
 涼氣は甘し
 緑赤し
 日之保し
 子^うの^こ
 煙火^{えんぱ}の照りかへず。
 草^{くさ}し^し若く、
 花^{はな}

[illegible]

* * * * *
 * * * * *

[illegible]

三三三三三
五五五五五
七七八八八
九九九九九